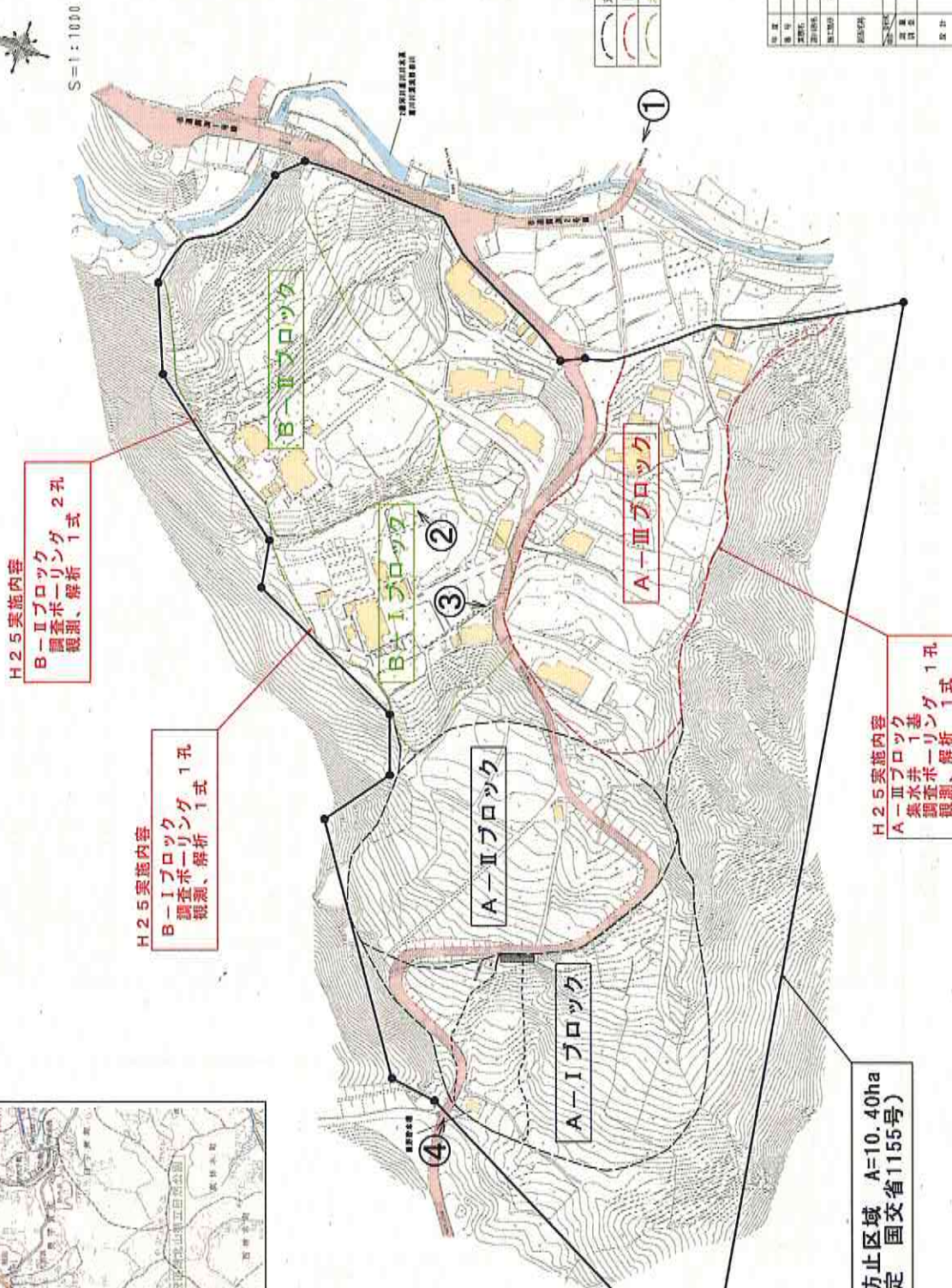


島根県公共事業再評価 評価結果 (案)

作成日 平成25年5月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
18	<p>(事業概要) (事業主体の根拠)</p> <p>(事業名・地区) 地すべり対策事業 唐川2地区</p> <p>(事業位置) 出雲市唐川町</p> <p>(事業費) 364,000千円</p> <p>(事業概要) 事業目的：地すべりの防止 指定区域面積：10.40ha 主要工種：集水・横井・リング</p> <p>(採択理由の根拠) 地すべり等防止第7条 都府県知事により地すべり防止区域の管理</p> <p>(再評価区分) 事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部署名) 土木部砂防課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度) 度 経過年数 (他)採択と今後の見込み)</p> <p>(事業採択・着手・完了予定年度) 度 経過年数 事業採択年度：平成16年度 用地着手年度：平成17年度 工事着手年度：平成18年度 完了予定年度：平成29年度 経過年数：10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 進捗率 76% 工事 72%</p>	<p>(採択理由の経緯・目的) (事業の経緯・目的) (事業の経緯・目的) (事業の経緯・目的)</p> <p>採択理由の経緯・目的 事業の経緯・目的 事業の経緯・目的 事業の経緯・目的</p>	<p>(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)</p> <p>(費用対効果) B/C=2.22</p> <p>(コスト削減・代替案等) 再生資材等の積極的利用を図る</p> <p>(その他の効果) ライフライン機能の保全(後野貯水槽)・土砂災害に対する地域住民の不安の軽減、地域における人口減少の歯止め</p>	<p>(環境への配慮) (生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)</p> <p>(生活環境・自然環境への影響) 特記事項なし</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 現在でも、地すべりによる被害が発生している。地すべりによる被害は、事業の中止により、事業区域内の公共施設に被害が生じ、危険な状態となる。また、事業の中止により、事業区域内の公共施設に被害が生じ、危険な状態となる。また、事業の中止により、事業区域内の公共施設に被害が生じ、危険な状態となる。</p>	<p>(継続・中止)</p> <p>(評価) 継続</p> <p>(継続・中止の理由) 降雨時に地すべり活動が活柱化し、宅地・耕地・農道において、被害が発生している。保全対象の野貯水槽は786戸に配水しており、被害は甚大なものとなる。また、斜面の下流には鈴谷川小学校・鈴谷川コミュニティセンターの2箇箇所が土砂災害危険区域に指定されている。この地域におきましては、生活基盤の確保を図るため、事業の継続が必要である。</p>

唐川2地区 地すべり対策事業 平面図



H25実施内容
B-IIブロック
調査ボーリング 2孔
観測、解析 1式

H25実施内容
B-Iブロック
調査ボーリング 1孔
観測、解析 1式

H25実施内容
A-IIIブロック
集水井 1基
調査ボーリング 1孔
観測、解析 1式

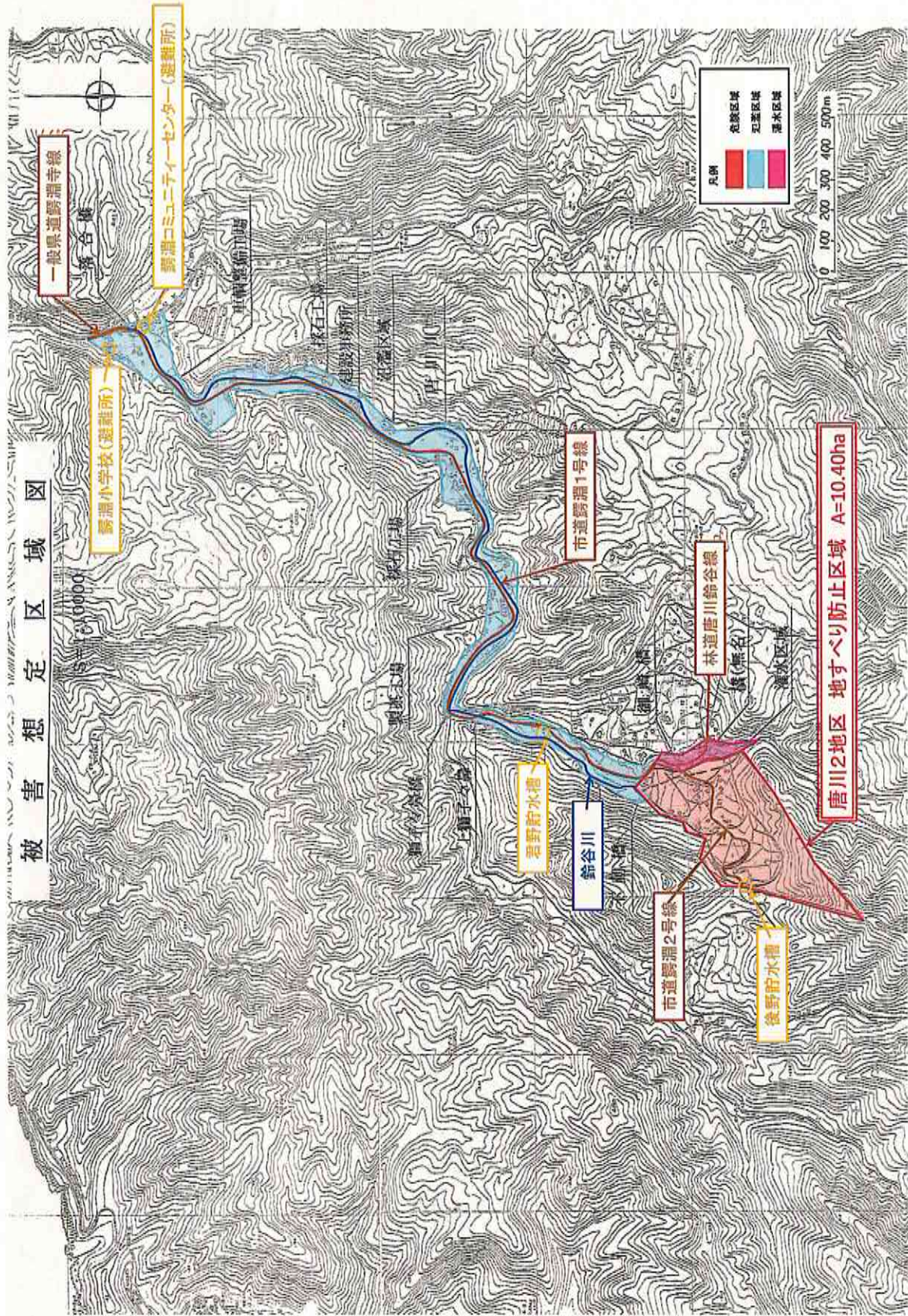
唐川2地区 地すべり防止区域 A=10.40ha
(平成16年9月27日指定 国交省1155号)

凡例

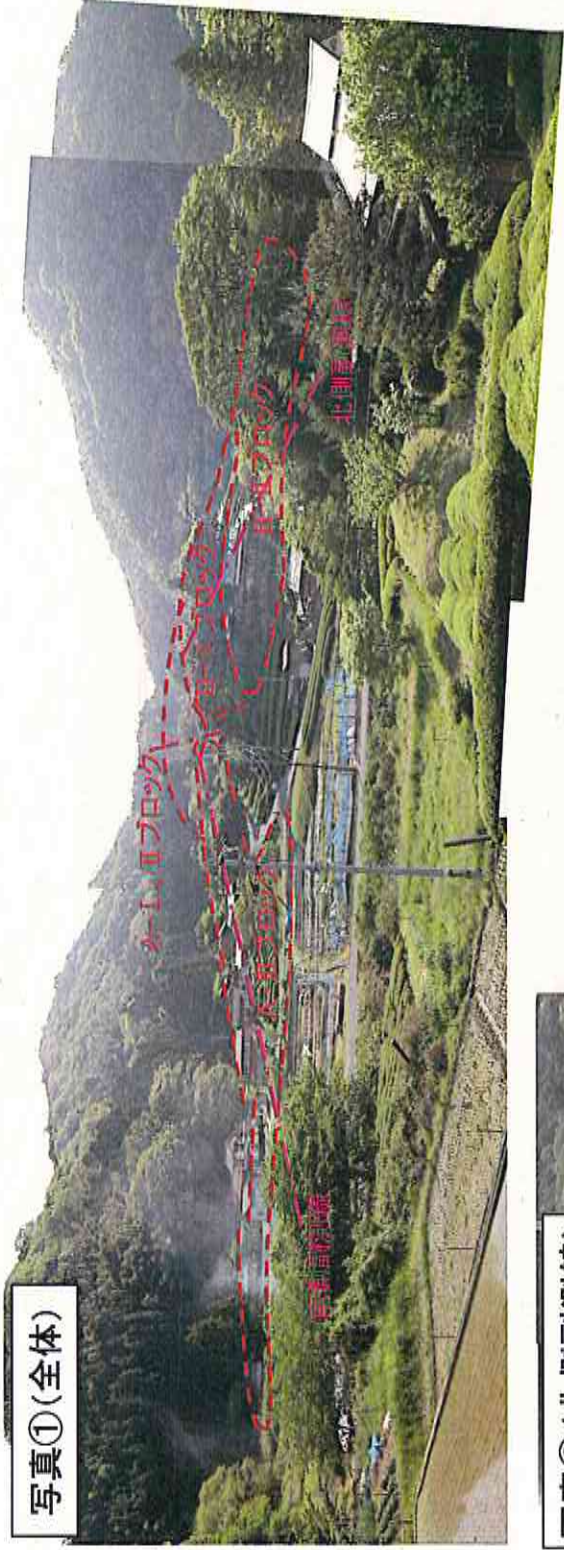
	H25実施ブロック
	H26実施ブロック
	H27実施ブロック

図名	唐川2地区 地すべり対策事業 平面図
図尺	1:1000
作成者	国土院 国土院 国土院
作成日	2016年9月
図面番号	1155号
備考	

被害想定区域図



写真①(全体)



写真②(北側副測線)



写真③(南側副測線)



写真④(被害状況)

